

「地域に出て、地域に学ぶ学習〔長野南高校一学年 地域学習〕」まとめ

1. 学習目標

- (1) 『生きる力（日常生活における様々な場面で適切な行為を自分で選択して実行できること）』を培うために、自ら進んで社会に出て何かを体験し、自ら考えることの大切さを学ぶ。
 - ・ 地域の人たちと積極的に交わる中で、『仕事』に対する情熱や責任、厳しさや楽しさなどを学び、自分の将来のあり方、生き方を考える。
 - ・ 活動を通して、自ら企画し実行する力、他者とのコミュニケーション能力、他者を尊重する態度などを養う。
- (2) 自分が通学している学校の地域を知り、地域の方々に学校を知っていただく。
 - ・ 活動中の一人ひとりの言動を通じて、本校のよさとその必要性を地域にアピールする。
 - ・ 学校が置かれている地域と交流を持つことにより、この地域及び本校について考えるきっかけとする。

2. 活動内容の説明

長野南高校では、総合的な学習の時間の一環として、地域に出て学ぶ学習をおこなっています。総合的な学習の時間の目標は『生きる力を育てる』となっておりますが、この『生きる力』とは、日常生活における様々な場面で適切な行為を自分で選択して実行できることを指しています。我々の日常生活において、選択して実行する場面がだんだん少なくなり、選択しなくても、つまり物を考なくても済んでしまう場面が多くなっています。残念ながら、そのような生活の中では『生きる力』がなかなか育ちません。

『生きる力』を育てるためには二つの方法があると本校では考えています。一つは、学校教育における各教科の学習に対して主体的に取り組むこと。もう一つは、社会生活の中で自ら進んで何かを体験し、自ら考えるということです。これまでの取り組みでも、地域に積極的に出て地域の方々と交わる中で、『生きる』ということを見つめることができた事例が数多くありました。また、地域の方々に学校を知っていただくことで、地域の方々に生徒を育てていただくこともできるという効果もありました。

一学年では9月20日（木曜日）に活動日を設定し、これまでの学年が実施し、大きな成果を挙げることができたこの活動をさらに発展させ、地域の方に喜ばれ、期待される活動へと推し進めるべく、学習を重ねました。

3. 学習の進め方

- (1) クラスごと4名～8名程度の班を構成し、以下の項目を決める。
 - ① 班長と副班長の決定
 - ② 体験希望施設（福祉施設、幼稚園、保育園、児童館など）の候補の決定
- (2) 班ごと対象施設へ連絡を取り趣旨を説明した上で受け入れの可否を伺う。もし受け入れが不可能な場合、第二希望以下の施設へ回る。
- (3) 受け入れ施設が決定したら、自分たちがそこで何をお手伝いできるか考える。お手伝いの内容が決まったら、受け入れ施設へ連絡し、事前打ち合わせの日時を決める。
 - ※ 事前に地域の方々をお招きして、「地域学習の中でみなさんに期待すること」をお話していただくので、そのときのお話も参考とする。
 - ※ 活動日が9月20日一日で終わらない場合、どのように活動を進めるかについても打ち合わせをおこなう。
- (4) 9月20日を中心に実際の活動をおこなう。
- (5) 活動内容は、報告書としてまとめ、発表会をおこなう。また、受け入れ施設への礼状を書き、受け入れ施設へ届ける。
- (6) 今回の活動をきっかけに、さらに地域活動を進めたい人は、活動の継続を期待する。

4. 受け入れ施設一覧

本年度はお忙しい中、次の35の施設で快く受け入れていただいた。この場を借りて深く感謝したい。

☆ 長野市

青木島保育園、安茂里保育園、川中島保育園、共和保育園、子供の園保育園、ころぼっくる保育園、塩崎保育園、下水鮑保育園、昭和保育園、杉の子保育園、杉の子第三保育園、西部保育園、丹波島保育園、中央保育園、つなしま保育園、中御所保育園、長野大橋保育園、長野ひまわり保育園、西条保育園、東長野幼稚園、ひよし保育園、真島保育園、御厨保育園、青木島児童センター、下水鮑児童センター、社会福祉法人 エマオ会、コスモスさいなみ、コスモス長野、真田宝物館、

☆ 千曲市

あかね北保育園、屋代保育園、東部児童センター、埴生児童センター、屋代児童センター、長野県立歴史館

5. 本年度の取り組みの特徴と今後の課題

(1) 本年度の取り組みの特徴

- ・ 清掃活動と就労体験をなくし、すべて各施設（幼稚園、保育園、福祉施設、児童館、その他）に割り振った。
- ・ 連絡や指示の徹底のために、班分けをクラス単位におこなった。
- ・ 過去の資料（過去の地域学習について、受け入れ施設から出されたご意見と感想を抜粋）を利用したワークシートによる学習と各施設でお勤めの方よりお話を伺う機会を設けた。
- ・ 各施設に持っていく礼状とアンケートに、これまでの学習の経過をまとめた資料を添えた。
- ・ ワークシートや報告書に『活動目標』を毎回明示し、目標を常に意識させる形で学習を進めた。
- ・ 事後指導として、各自の報告書のコピーと礼状を受け入れ施設に送付した。また、クラス単位で1分間の発表会を実施し、相互評価をおこなった。

(2) 今後の課題

- ・ 清掃活動をなくし、少人数で各施設に行ったことにより、各自責任を持って取り組めた。
- ・ 実習受け入れ施設の決定（重複の調整と予約取り）に手間取ってしまい、夏季休業中に正副担任で手分けをして、受け入れ施設にあいさつをする予定だったが、果たせず依頼文のみの郵送となってしまう。次年度は時間に都合をつけて、挨拶回りをおこなってほしい。この企画の成否を決めるのは、一にも二にも手間暇を惜しまないことである。
- ・ 年間の行事予定の関係で9月20日直前に学年集会がとれなかった。目標の再確認のためにも直前の集会は必要と思われる。
- ・ 本年度初めて受け入れていただいた施設からの評価が、比較的辛口だった。この点は今後もこの活動を継続していくことで解消できると考える。また、受け入れ施設からのアンケートで不評をいただいた施設へは、来年度の実施も考え、職員で謝罪にお伺いした。
- ・ 発表会と相互評価については予想以上にしっかり取り組めた。ただ、クラスによりばらつきが出てしまったので、次回の進路研修の発表会は、5クラスをミックスした集団での発表を予定している。

6. 生徒の感想

☆ 幼稚園・保育園

実習を終えて最初に思ったことは、「苦勞の分、よいことが返ってくるんだな」ということでした。この一日は疲れたけれど、疲れよりも子供たちと遊んで楽しかったことと、子供たちの笑顔がとても印象に残りました。

実習では最初、本当に何をしてもよいのか分からず不安でしたが、先生方が丁寧に教えてくださったおかげで、自分なりに積極的に行動することができました。

今回の実習で、保育士さんはただ子供たちと遊んだり、触れ合ったりするだけではなく、散歩の際も車などの危険から子供たちを守ったり、物や他人に対する思いやりを教える役目もあるということを知り、「優しさとは時に厳しさも必要とされる保育士さんってすごいな」と思いました。また、実習では子どもたちから話しかけてくれたので、すぐに仲良しになれて、抱きついてきたり、

甘えてきてくれたり「子供ってかわいいな」と思えました。

これまでは将来、保育士の道を考えていませんでしたが、この一日で保育士の道を真剣に考えてみたいと思うようになりました。これも保育園の先生方や園児たちのおかげだと思います。またおろかがいする機会がありましたらぜひ行きたいと思います。本当にありがとうございました。

☆ 児童センター

実習前の打ち合わせの時に、「多くの子供と接してください」と言われたことを覚えています。その言葉を心に刻み実習に取り組みました。

しかし、いざ実習となると最初は何をしたらよいか分からず、ただ立っているだけでした。それでもおやつの中には近くの子供たちといろいろ話したりして、少しずつコミュニケーションをとることができました。おやつが終わって、外で鬼ごっこをして遊びました。最初、2、3人くらいで遊んでいたのが、「これでは多くの子供たちと接していないのでいけない」と思っていると、子供たちの方から「仲間に入れて」という声がかかり、最後はとてたたくさんの子供たちと鬼ごっこをすることができました。また、自分たちが遊びのために用意してきたダンボール箱も子供たちが自由に使ってくれました。ダンボールを利用した遊びも中に入ったり、広げてみたりといろいろなパターンがありました。

片付けの時間となり中に入ろうとした自分にある子が「また遊ぼうね」と声をかけてくれました。その一言がとてもうれしく、暑い中走り回って疲れているのになぜか、「うん、また遊ぼう」と言葉を返していました。たぶん、その子の笑顔が見たかったからだと思います。疲れていても子供たちから「楽しかった」と声をかけられるとやってよかったと思えたり、次も頑張ろうと思えました。

今回は本当に充実した実習でした。10月にも、もう1回訪問することになっているので、その時は最初から多くの子供たちと接することができるようにしたいと思います。

☆ 老人福祉施設

実習の中でお年寄りの方とお話する機会が何度かありました。その折、私としては自分から積極的に話すことができたと思っています。お話の中でいろいろと勉強になることがありました。

Tさんとお話しして時には「あきらめない」ということを学びました。Tさんは一度脳梗塞になり右半身が全く動かなくなったそうです。でもリハビリとしてビーズで暖簾を作ったりという作業をすることで、今では編み物をするぐらいよくなったとのことでした。編み物もそうですが、ビーズもとて小さくて一つ一つつなげていくのは時間のかかる大変な作業です。それを半身が動かない状態で作り上げたTさんは本当にすごい努力家だと思いました。

また、他の方々との会話でも学ぶところがいっぱいありました。どんな時でも前向きに生きること、笑って楽しく生きること等々、大切なことをたくさん教えていただきました。

この実習でおばあさんたちから教わったことを大事に、日々少しずつでも成長していきたいと思っています。今回、この実習をすることができて本当によかったです。私たちを受け入れていただいた施設の皆様、本当にありがとうございました。

☆ 文化施設

実習を終えて、一番考えさせられたのは課長さんのお話です。「あなた方はこれから社会という別の地域に出ていく。その際、別の地域から来た人はその地域にもともと住んでいた人によく観察される。その地域で認められるように一生懸命頑張ることが大切だ」

この言葉はこれから社会に出ていく僕たちにとってとても良い刺激になりました。この言葉を忘れずに、社会に出た時の教訓としていきたいと思っています。

実際の活動の中では様々な貴重な体験をさせていただきました。特に発掘された本物の土器を分類するという大切な作業をさせていただき、様々な土器に触れることで「3000年も前の人が作ったものを今、自分が見て、触っている」という事実にもすごいロマンを感じました。この作業の中で、集中力、観察力、友と共に協力して一つのことを成し遂げる大切さを学びました。作業の指導してくださったOさんにはとてお世話になりました。本当にありがとうございました。

施設内の見学では、普段見ることができない裏側を見せていただき、遺物が展示されるまでには多くの手がかかることを知ることができました。そして、このような施設は様々な知識を持った人達によって成り立っていることがわかりました。

打ち合わせの電話、集合時間、作業中、控室の使い方等々、いたらぬことばかりでご迷惑をおかけし

ましたが、自分たちにとって『大人』を学ぶことができ充実したよい一日となりました。スタッフの皆様、Mさん、Tさん、Oさん、貴重な時間を本当にありがとうございました。

7. 受け入れ施設からの感想および要望

お忙しい中たくさんのご意見をいただき誠にありがとうございました。一部抜粋して掲載させていただきます。

(1) 依頼から事前打ち合わせ、実習当日までの生徒の様子、受け入れての感想

☆ 幼稚園・保育園

- ・ 事前打合せでは、生徒から「自分たちで考えて〇〇をさせて欲しい」という発言があり、積極性が感じられました。
- ・ 事前打合せでは、質問事項がまとめてあり、前向きに取り組もうとする姿が見られました。
- ・ 当日、礼儀正しく挨拶もでき、こちら側の要望（運動会が近いこともあり、活動に協力をして欲しい等）を理解し、子どもと接していました。子どもたちもお兄さんたちが来てくれ、とても喜んでいて、女の子の中には抱きついている子もいました。
- ・ 班長のSさんを中心に、事前打ち合わせ等きちんとおこなうことができ、当日もいろいろな仕事を自分たちなりに頑張ってくれ大変助かりました。また、園児たちにとっては、大きい「お兄さん」のような方々が一緒に遊んでくれたり、生活をともにして下さったことが嬉しかったようです。
- ・ 素直で前向きな姿勢に好感が持てました。園長より「周りの人と比べて、優劣の差があることは当然。一生懸命に向かう、正直な自分を出すとその人の良い所が見えてきます。」という話を聞いているときの表情を拝見し、共感されていたようで嬉しく思いました。
- ・ 子どもたちとよく遊び、環境作業や保育準備のための製作なども暑い中、嫌な顔もせずおこなっていました。
- ・ 当日は、保育の仕事を経験してもらっただけでなく、掃除などの環境整備も体験していただきました。そして反省会においては、「保育の仕事は子どもと遊ぶだけではないのですね…」との意見も聞かれました。実際の仕事現場を経験することで、見えなかったものがいろいろ見えてきてよい活動だと感じました。
- ・ 保育園児一人ひとりに笑顔で丁寧に接していたのが良かったです。
- ・ 先生からの依頼は大変丁寧で、目標なども理解できました。生徒も約束を守りしっかりしていました。当日、5名の生徒さんが、暑い中一生懸命子どもたちと関わってくれました。特にW君とY君は自然に子どもの中に入っていました。
- ・ 「おはようございます」「ありがとうございました」が自分から言えたら、更によかったと感じました。
- ・ 意欲のある方、あまり意欲の見受けられない方の差が気になりました。
- ・ 打合せしたこと（身支度、一つ目標を書く）が実行されておらず、残念でした。
- ・ 一人、長い爪（マニキュア）茶髪まではよいとしても、長い髪はきちんと縛って来るように。身なり、身支度を保育の場にふさわしくして来て欲しいと思います。出来れば、福祉奉仕の意味をわかってきて実習に臨んでください。
- ・ 「地域に学ぶ」意識、姿勢が薄いと思いました。打ち合わせの帰りは線路を歩く、当日は6人が道一杯に広がり車が来てもよけない、実習の帰りは近くのコンビニで座り込んで飲食をする等、一般常識の面で考えて欲しいものです。
- ・ 体を動かし子どもたちとよく遊んでくれましたが、そのときの活動や場面を考えず、勝手な行動（〇〇に似ていると子どもを友達のところへ連れて行ってしまふ等）がいくつかありました。仕事 中だという認識に欠けていると思います。ボランティアであっても「仕事に来ている、遊びではない」という意識が欲しいです。

☆ 児童センター

- ・ 事前打ち合わせのとき、当方の問いかけや提案等に6人で相談しつつ的確に応答できていた。また、時間のゆとりがあったので、児童と話したりふれあいを持つなど、当日の実習に向けての事前準備、心構えができてよかった。
- ・ 事前に実習希望の生徒さんから丁寧な態度で電話をいただき、社協や職場内で相談し、受け入れを決めた。初めてのことでわからない面もあったが、後日、学校側より活動の主旨や保険加入等についての細かい文書を送付していただきありがたかった。

- ・ 実習当日は、練習してきたダンス「チューリップ」を音楽に合わせて披露してくれた。その後、おにごっこ、ボール遊び、縄跳びなど積極的に関わってもらった。皆さん明るく親しみやすいので、子どもたちもすぐに打ち解け、仲良く遊ぶ姿が見られた。
- ・ 当日は、K君がダンボールを持参し、子供たちは大喜びでした。イベント前で何かと子供たちもあわただしく、ゆっくり関わられなかったと思いますが、各自が書いたレポートを見ると各々よい経験をされたようでよかったです。
- ・ 当日は、午前には草取り、球根植えなどをしてもらいましたが、気持ちよくやってくれました。子供たちが来館してからは、元気にゲームをしたり絵本を読んでもくれました。また急きよ、紙芝居を読んでもらうように頼んだところ、「出来ません」ではなく、「やってみます」と前向きに取り組んでくれました。子供たちも大変喜んでいました。
- ・ 一日のみの経験でなくてよかった。時間の都合で2日間となったが、2日目の生徒の取り組みの様子は前日の経験も生かされて好ましかった。学習目標達成のためには一日のみでない方がよい。
- ・ 活動の始めは緊張した様子であったが、壁面の装飾作りも一生懸命やってくれた。児童（1～3年生）が来てからは、積極的に関わってくれ、子供たちもとても喜んでいて。次の日に「お兄ちゃんたち今日も来るの?」「また来てほしいな!」という声は何人もの子どもたちから聞かれた。後日、丁寧なお手紙をいただき、職員一同、感激感心しております。

☆ 老人福祉施設

- ・ 打ち合わせなどは生徒の方もメモをとって聞いてくれたのでよかったと思います。若い方が来るとお年寄りの皆さんも喜んでくださるので、よい刺激となったように思います。
- ・ 事前打ち合わせの電話対応も丁寧でした。当日の様子については初めての場所ということもあり、緊張している感じでしたが、入居者とコミュニケーションをとろうという姿勢は大いに見受けられました。
- ・ 事前の連絡、オリエンテーションも大変丁寧にできました。当日も含め、同じ1年3組の生徒さんだったせいか、生徒同士の連絡も取れていてありがたかったです。どの生徒さんも礼儀正しく積極的で、施設で取り組んでいる問題点にも気づく視点を持った生徒さんでした。
- ・ 当日遅刻する際には、きちんと連絡を入れていただきたいです。また、緊張されていたとは思いますが、『返事』をもう少しはっきりできるようになるとよいと思います。

☆ 文化施設

- ・ とても素直な子どもたちでした。

(2) 今後、このような活動を継続する上での課題点

☆ 幼稚園・保育園

- ・ このような活動は一回だけでなく、回数を多く重ねることが重要だと思われます。こちらの園としては出来るだけ協力するつもりでおります。
- ・ 事前指導があったからでしょうか、積極的に子どもたちと関わろうとしていました。今後とも事前指導はぜひお願いします。
- ・ 貴校の『生きる力を育てる』は、今の子どもたちにとって大変必要なことだと思います。何か一つでも今回の実習で学んでいただければ嬉しいです。今回感じたことは、事前のご指導の跡が見られ教育の大切さがわかりました。
- ・ 職場では、「他者とのコミュニケーション能力」が貴重な力として必要とされています。職種に関わらず、毎日の生活の中で家族、学校、社会の人々と関わる中で“生きる力”を身につけ、周りの人とともに自分自身を愛する人となって欲しいと思います。
- ・ 受け入れ側としては特別なことは何もなく、通常保育の中で生徒さんにお手伝いいただいています。感想を見せていただきましたが、学校の事前指導がよく、一人一人が（学んで欲しいことを）感じ取り考えられたようで、生徒さんの学ぶ姿勢に社会人として見習う部分もたくさんありました。
- ・ 当園の子どもたちも、いつもとは全く違う人的環境の中で新鮮さを感じ、いつもより生き生きしていました。これからもいろいろな人と関わり、人間関係の実体験ができる場を設けたいと思っておりますので、当園としてもこのような機会は願ったりかなったりです。これからもよろしく願いいたします。
- ・ 今回の体験実習のように“自分たちから”という姿勢があると良いと思います。
- ・ 「絵本を読み聞かせたい」あるいは「手遊びをやってみたい」など、課題を持ち、準備して臨ん

でいただけたら、より充実した学習になると感じました。

- ・ 幼稚園に対する事前研究、子供たちに伝えたい遊びやおこなってみたいことなど、前もって考え実習に臨めるとさらに充実したものになると思えた。質問等も話し合える時間をつくったり、園としても対応を考慮していきたいと思います。
- ・ まず出先へ行く身支度をきちんとさせて欲しいです。そして、挨拶をしっかりすることではないでしょうか。それだけで印象が良くなると思います。

☆ 児童センター

- ・ 今後、このような実習を計画される場合は、最低三日間連続がよいと考えますので、早めにお問い合わせください。センターの夏・冬休みの全日開館日がよいと思います。
- ・ 授業時間の関係もあるとは思いますが、1年に1回ではなく、何回か来れるような形が取れるとよいと思います。学生の意識にもよりますが、授業の早く終わる日などを利用してくるなどのご指導をしていただくとよいのではと思います。
- ・ 頂いた資料の中に「生きる力を育てる」とありますが、よい目標だと思います。また、本館でも「自ら考えて行動する」「今、何をすべきか」ということについて小学生にも話をしています。学校では出来ない経験を多くすることが、学生の成長につながるのであれば、受け入れを続けたいと思います。
- ・ 高校再編成の対象校となりましたが、貴校の生徒、卒業生、地域からの要望が強く、今回は見送りとなりました。学校の特色を出し、頑張ってください。

☆ 老人福祉施設

- ・ 一度で終わりではなく何度か続けていく中で、こちらの用意した実習内容に加え、生徒さんからもやりたいことなどの提案があるとよいと思う。
- ・ 生徒さん一人一人の姿勢が、成否を大きく左右する活動だと思います。事前の学習を進めていただき、その生徒さんの学習の深まりによってその生徒さんなりの当日を迎えることとなるので、気になる点があれば、教えてくだされば参考にいたします。

(3) 本校への要望、意見

☆ 幼稚園・保育園

- ・ 世代間の交流としてこのような機会がもてたらよいと思います。
- ・ 地域の中で南高の評判は必ずしもよいものではありませんでしたが、統廃合の後、学校が変わらねばという意欲が見られます。頑張ってよい学校にしていって欲しいです。
- ・ 日頃、園児たちが散歩等でお世話になっています。無理のない形で交流できればよいと考えています。
- ・ 今後も“生きた経験の場”をぜひ続け、生徒がより希望をもって自分の進路を選べるようにご指導くださいますよう、お願いいたします。
- ・ 地域の中でお互いに”思いやり”を持って行きたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

☆ 児童センター

- ・ お近くにつき、交流できると子供たちも嬉しいです。文化祭の案内もよろしくどうぞ。ますますのご発展を祈念申し上げます。回答遅くなり失礼いたしました。
- ・ 長野南ルネサンスという素晴らしい学校の計画。そこで学べる生徒たちは幸せだと思います。

☆ 老人福祉施設

- ・ 当施設では、行事の際が最も入居者と触れ合うことができ、職員の様子もわかるので、ぜひそういう機会に生徒さんに来て頂けたら、ありがたいです。

